

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 27 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for 羽黒石材商工業協同組合助成事業 and 商工業の振興.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (羽黒石材商工業協同組合への運営費補助金の支出) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (運営費補助金の支出).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for 羽黒石材商工業協同組合 and 実施事業参加者数.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員従事人数, 述へ業務時間).

Table showing 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円) with a total of 235 for both.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a list of main activities like 市長マニフェスト and 未来PJ事業.

事務事業名	羽黒石材商工業協同組合助成事業	事務事業No.	50203000540	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和22年2月に羽黒石材商工業協同組合を設立し法人として誕生したが、昭和24年の中小企業協同組合法の制定にともない、新たに事業協同組合として昭和25年現組合が設立された。</li> <li>旧岩瀬町から運営費補助金を支出しており、合併後も引き続き運営費補助金を助成している。</li> <li>石材業界の不況にともない、組合員数が毎年減少している。</li> </ul>	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も石材組合の事業運営のため、運営費助成を継続して欲しいとの要望がある。</li> </ul>	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	羽黒糠目石は、真壁の石に比べると高級な石材として一定のブランド力を持っているが、更に一般的な知名度を上げていくことで引き合いが増えることが期待される。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	羽黒石材商工業協同組合の活動は石材業の振興や石製品のPRにつながるため、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	石材業は桜川市の地場産業であり、市が組合への助成を通じて石材業の振興を図ることは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	石材業界は製造・小売とも廉価な海外製品と競争しなくてはならない厳しい状況である。組合の活動を通して海外製品との差別化・ブランド化を図ることにより、地元石材業の活性化を図ることができる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	石材業界を取り巻く環境が厳しい中で、羽黒石材商工業協同組合も会員数及び会費収入が減少している。このような状況運営費補助金を廃止した場合、羽黒石材商工業協同組合の活動がさらに縮小され、石材業の活性化に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	羽黒石・真壁石とブランドは違うが、真壁石材協同組合と連携することはできる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	石材業界が不況の中、会員や会費収入が減少している状況で市からの助成金を削減した場合、事業の縮小など成果の低下を避けられない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	石材事業者の組合に対する補助金であり適正である。また、受益者である石材組合員からも会費を徴収し、事業費として充てている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内の石材業界は10年以上前から廉価な海外製品との競争により、厳しい状況にあるが、組合として状況を打開するような事業はなかなか見つけられない状況である。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 真壁石材組合と比較して事業者(組合員)の数が少ないため、事業の規模もある程度限られる面がある。業界として苦境にあることは真壁と同じである。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>